



# JAC北九だより

No. 102 (令和 5 年 第 4 号)

公益社団法人 日本山岳会 北九州支部

Kitakyushu Section of The Japanese Alpine Club

発行：公益社団法人 日本山岳会北九州支部  
支部長 竹本 正幸

事務局：福岡県北九州市小倉南区志徳1-1-29-104

清家 幸三 方

TEL 自宅 093-963-2160

携帯 090-8664-4411

編集人：橋川 潤

印刷：山口県山口市水の上町 2-25

内藤製本所



硫黄岳で (写真 橋川潤)



横岳山頂 (写真 町元里香)

令和 5 年 9 月 1 日～5 日

特別山行 南八ヶ岳

ふたこと・みこと

## コースタイム

2日 やまのこ村駐車場 13:20 ~ 美濃戸登山口 13:30 ~ 堰堤広場休憩 14:25 / 14:30 ~ 赤岳鉱泉山荘 15:30 夕食、各自就寝 18:10

3日 朝食 5:30 出発 6:00 ~ 赤岩の頭 7:30 / 7:50 ~ 硫黄岳 8:10 / 8:20 ~ 硫黄岳山荘 8:30 / 9:00 ~ 台座ノ頭 9:20 / 9:25 ~ 横岳 (奥の院) 9:40 / 10:00 ~ 横岳 (無名峰) ~ 横岳 (三叉峰) 10:10 / 10:20 ~ 石尊峰 10:20 / 10:35 ~ 地蔵の頭 11:00 / 11:15 ~ 赤岳展望荘 11:15 / 11:30 ~ 赤岳、赤岳頂上山荘 12:07

4日 朝食 5:10 出発 5:45 ~ 行者小屋山荘 7:20 / 7:30 ~ 美濃戸登山口 9:50

## 《山行前は天気図とにらめっこの毎日》

15710 町元 里香

今年の特別山行は 9 月初旬に計画していたが、台風が次々とくる状況が途切れず、天気図とにらめっこの毎日が続いた。予約日の 7 日前を過ぎるとフェリーなどのキャンセル料が発生するが、参加者に了承してもらい、ぎりぎりまで様子を見ることにした。出発 2 日前の時点で予報は曇り。催行を決めた。

運良く、2 日目の縦走路は午前中は見事な晴天に恵まれ、遠く中央アルプス、南アルプスまでも望めた。

岩と奮闘したり、急な登りに心が折れそうになったりもしたが、気持ちの良い山歩きができた。赤岳頂上ではブロックン現象も体験でき、山小屋でのビールの乾杯は美味し過ぎました。生憎、最終日は雨の中の下山となったが、みんなと歩く山は最高。

これからも楽しい登山を楽しみにしています。

## 《素晴らしい眺望を楽しむ》

14852 竹本 正幸

北八ヶ岳は今年 3 月に縦走した。南八ヶ岳は、近年 2 月と 5 月に来ているが 2 回とも天候が悪くて山

頂は踏んでいない。近頃は山に入ると花談議が多い。花にあまり興味がない私でも橋川教授？ 加代子助教授？ の説明に耳を傾けた。硫黄岳からはコマクサの花が最後の力を振り絞って数輪咲いていたのが印象的でした。今回は最後の下山日を除き、天候に恵まれたので、素晴らしい眺望を満喫することができた。楽な行程でもありのんびりした登山になった。

《いつもは一人で登山をしているわたしですが》  
北九 535 水落 ゆかり

いつもは一人で登山をしているわたしですが、登山の先輩たちと一緒に時間を過ごさせていただき、登山のこののみならず、人生について、いろいろと勉強をさせていただきまして誠にありがとうございました。つらい登りを終え、山荘に到着して、ホッと一息をついて飲むお酒は格別でした。初日、二日目と天候に恵まれ、遠く富士山も眺めることができました。赤岳頂上山荘到着後は、山荘のすぐ横にある赤岳頂上でまったりとした極上の時を過ごすことができ、最高でした。三日目は天気予報どおり、残念ながら雨、風、霧の中での出発で、最後まで雨は止むことがありませんでしたが、誰もけがをすることなく無事に下山することができ、ホッとしました。

下山後のお風呂とランチは最高でした。又、長谷川恒夫資料庫を見学し、どんなに熱い素晴らしい人だったのか、彼の持ち物を通して伝わってきました。町元さん、縄手さん、竹本正幸さん、加代子さん、清家さん、橋川さん、久保さん、楽しい時間を共有させていただき、ありがとうございました。

町元さん、日本山岳会北九州支部の方々、今回の山行を計画

され、実行に移すまで多くの時間を費やされたことと思います。お陰様で素敵な山の思い出がまた一つ増えました。

誠にありがとうございました。



赤岳 (写真 町元里香)

《大自然に包まれ癒され頂きを目指す》

14853 竹本 加代子

前日は赤岳鉱泉の「噂のステーキ」で翌日に備える。まず天気を確認。大丈夫！ いつも稜線に出さえすれば、ワクワクする何かが待っている。待ち受けていたものは圧倒される 360 度のパノラマ。先ず槍ヶ岳を見つけ、確かめるようにぐるりと見渡す。少し雲が湧き北八ヶ岳を包み、硫黄岳の爆裂火口を包む。富士山も雲から顔を覗かせまた隠れる。少し残念な時もある。しかし、ブロックンに「どこ？ どこ？」と盛り上がる。花後のコマクサ、ウルップソウやチョウノスケソウなど稜線の岩稜の花々。短い夏には咲き誇り登山者に感動を与え、歩を止めたであろう。辛い登りがある登山ではあるが、このひとときを楽しむために登っているような気もする。この度は橋川さんから森林帯を登りながらも陰樹の



ハナイカリ (写真 橋川潤)

話を聞き、植物を掘り下げた話も聞けて帰宅後はリサーチを楽しむ。例えばコケモモやコメバツガザクラの葉は似ているとかナナカマドの葉の違いなど。ハナイカリやミヤママタタビは初めましての花。5 回目の南八ヶ岳でした。が新鮮な山旅でした。

《やっぱり山はいいなあ》

北九 540 久保 正志

以前から行ってみたいと思っていた「八ヶ岳」の文字を見て飛びついてしまいました。久しぶりに 3000 ㍍級の山々に向かうので、山行の半月程前からザックを背負って、階段を上り下りの自主練習。その成果かどうかは分かりませんが、何とかメンバーの皆さんに迷惑を掛けずに終えることができたのではと勝手に思っています。赤岳山頂直下では、「お先にどうぞ。後を追いかけてます。」との心の叫びを何度も聞きながらも、登っているメンバー皆さんの姿をエネルギーにして、やっとのことで頂上に立つことができました。今回の山行で、南・北アルプスや富士山（今回は恥ずかしがりの富士山でした。）など素晴らしい景色を眺めることができ「やっぱり山はいいなあ」と改めて思いました。メンバーの皆さん、本当にお世話になりました。そして、有難うございました。

### 《南ハケ岳山行に参加して》

15806 清家 幸三

毎年、ハケ岳を眺めていつかはと思いながらやっとなえられました。今まで登ったアルプス山々が遠くから「ようこそ」と話しかけてくれました。

“この頂に立つ幸せの輝きはこれをとらふる…”この文言は槇有恒の碑文にあります。まさしくその心境に浸りました。

さらに今回はフェリーで、また赤岳鉱泉で、そして天空の赤岳山頂小屋で仲間とのたくさんの話に浸ることができました。

### 《20年ぶりの赤岳へ》

17031 橋川 潤

久しぶりの2900m超えの登山。日頃のトレーニング不足を心配しながら参加を申し込みました。しかしながら、リーダー、先輩方の綿密な計画と、グループ登山に配慮した歩行技術・ペース配分のおかげで問題なく歩きとおすことができました。ありがとうございました。高山植物は最盛期を過ぎていましたが、花後の植物を見てあれだこれだと思いを巡らせる楽しいひと時でもありました。ただ、九州にはない数種の針葉樹の名前がその場でわからない！ 予習不足を反省です。

参加者 8人：町元里香（CL）水落ゆかり 竹本正幸 竹本加代子（SL）橋川潤 久保正志 清家幸三 縄手修

令和5年8月5日（土）～6日（日）

## 九州5支部懇談会の報告

—ミニヤコンカから生還した松田宏也氏が講演—

事務局 清家幸三

8月5日と6日に法華院温泉山荘にて東九州支部の主催で開催。全体では61人、北九州支部は5人が参加。

一日目は14時00分～15時45分、各支部の報告会。16時00分～18時15分、記念講演会。18時30分～20時30分、夕食、懇親会。

講演会の第一部は東九州支部の加藤英彦さん（前支部長）が「90年の時空をこえて」九重遭難の回顧録のビデオ上映をしながらその歴史の話をされました。遭難慰霊碑の修復工事の尽力、そして遭難から80回忌以降毎年8月第一日曜日に東九州支部では「山の安全を祈る集い」、法華院温泉山荘では「九重慰霊の日」として共催で行われており、活動の一貫性と地道な努力に支部運営のやり方をかいま見ることが出来ました。

第二部は「生きて還って、また登る」の著者でもあり千葉支部長の松田宏也さん（本部理事）の講演でした。6月の小倉サロンのビデオ鑑賞会と同じビデオが上演されたのと、伊藤顧問より借りていた著作

本も読んで強い感銘を受けて参加しました。それが現実、松田さんと会えて話を聞いたのでより身近に登山の知識を習得することができたのではないのでしょうか。

次に懇親会では各支部の参加者と楽しく飲食をともに過ごし交流を深めることができ、九州の他支部との距離を短く感じることができました。今回の5支部懇談会で一番大きな収穫ではなかったかと思っています。



慰霊法要（写真 橋川潤）

二日目は朝から雨模様でしたので、山荘で「山の安全を祈る集い」と「慰霊法要」が行われました。慰霊法要は山荘の主人（九重山法華院白水寺 弘蔵岳久院主）が厳かに勤められました。その後、加藤英彦さんと「坊がつる讃歌」を全員で斉唱しました。加藤さんの感じの良い歌声に魅了され、80歳を疑いました。その後、小雨模様の中を各自下山に就きました。北九州支部の5人は11時40分に長者原駐車場に無事下山して昼食後、散会しました。

お疲れ様でした。最後に東九州支部の皆様、大変お世話様になりました。

参加者 5人：榎俊一 馬場基介 横山秀司 清家幸三 橋川潤



参加者集合写真（写真 東九州支部）

令和 5 年 5 月 27 日(土)

## 福岡 Geo トレッキング・平尾台南部

北九 532 大山 時彦

- 1 期日 5月27日(土) 千貴岩駐車場集合 8:30  
～解散 14:00(約 5 時間半)
- 2 目的 平尾台の地質・地形の観察とムラサキ(絶滅危惧種)の監視活動

### コースタイム

集合 8:30(横山 CL より当日の目的概要説明)  
出発 9:00→大かん台(カレンフェルト観察、断層崖)→風神岩→不動山→堂金山(カルスト地形・植物観察)→貝殻山(石灰岩と変成岩観察)→茶が床 11:30(地形・ムラサキ観察、昼食)→見晴らし台→堂金山(ムラサキの監視活動)→川ドリネ→三笠台→駐車場解散 14:00

平尾台登山と言えば貴山登頂や幾つもの周回コースを何度も経験し、山肌に広がる石灰岩の風景は素晴らしいとは感じていました。その中で今回の観察登山は平尾台の新たな魅力を発見するものでした。横山 CL のきめ細やかなカルスト地形の解説、ムラサキ絶滅危惧種説明の詳細テキスト等感激するものばかりでした。私にとっては、まさに「足元を見る平尾台登山」と言えるものでした。



三笠台 (写真 榎俊一)

まず、Geo(地質、地形、地理)についても数多いドリネから石灰岩のみかと思っておりましたが、形成史から貝殻山付近の泥質片岩地域と地質が分かれ、棚田や水田が可能であった形跡が紙面上だけでなく現地確認できたことは、数億年前からの地形と人との関わりを感じるものでした。

もう一つ、植物については同行していただいた観察センターの古川さんから、平尾台には約 900 種類の植物が生息していることや、今回のムラサキの生息数は判明しているものだけでも 150 本と少ないことなど、その場その場で解説をしていただきました。ムラサキについては生育場所や子葉の形態の説明をしていただいたので、素人でも見分けが付きやすくなるなど、納得できる解説をしていただきました。それらを通じて、日々の平尾台観察センターの努力を改めて感じることができました。また、参加者の皆さんもよく花の名前等をご存じて、私は花は綺麗であれば十分との考えから種類や名称はまった



平尾台南部の草原 (写真 榎俊一)

く分からず、会話にはついていけませんでしたが、1種、「シラン(紫蘭)」だけは覚えてきました。

今回の例会は別用件があり、参加できない予定でした。しかし、前々日に参加できるようになり急遽申し込んだところ、快く参加承諾していただいた横山 CL や町元 SL にも感謝し、また、登頂だけの登山の他にも山の魅力が発見できるこのような企画に、今後もできる限り参加したいと思っています。

最後にいろいろ親切に声掛けしていただいた、参加者の皆さんにもお礼申し上げます。

参加者 10 人：井上禮子 丹下洽 丹下香代子  
大内喜代子 榎俊一 竹本正幸 竹本加代子  
町元里香 横山秀司(CL) 大山時彦  
(平尾台観察センター古川さん同行)



木版画「法華院温泉山荘」伊藤久次郎 作

令和 5 年 6 月 11 日(日) 月例山行 九州オルシ  
佐伯 大入(おおにゅう) 島  
16602 太郎良 嘉親

佐伯港大入島フェリー乗り場駐車場に 9 時に集合し、9 時 15 分のフェリーにて大入島へ渡る。9 時半頃石間港からスタートして彦神社そばを通り、急に草生い茂る山道に突入する。その後はオルシというより狭い山道を進む。でもこの道が通学路だったというので驚きです。10 時 24 分に遠見山山頂(193



遠見山 (写真 清家幸三)

m) に到着。皆で記念撮影と歳弘さんの冥福を祈り黙祷を捧げる。その後下山し 11 時 28 分に食彩館に着いて豪華な食事(とっても新鮮な蛸とアジの刺身、海藻アカモクがかかった豆腐、ホゴ(あらかぶ、カサゴの地方名)の揚げ物、アジのフライ、小粒の牡蠣、イサキの煮魚、ニッケが入ったゼリーなど)をお腹一杯頂きました。これらは清家さん自身や親戚の方が釣った魚やお友達が養殖した牡蠣などです。こんないいものがいつも食べられる清家さんがうらやましいですね。

これで今日のオルシは終わりかと思ったらそうではなく、第 2 弾が 12 時 45 分に食彩館からスタートして旧大入島中学校跡地横を通りトンネルを抜けて、白浜海岸に出てそこから山道へ進んで行きます。途中、空の展望所の絶景ポ



舟隠 (写真 竹本加代子)

イントで景色を楽しみ高松浦の海岸へと下山。その後、海岸線を歩き 15 時 11 分に食彩館へ戻ってきました。本日のオルシは合計 4 時間半の 9 歩歩きました。本日はガイドの清家さんを始めリーダー藤原さん、サブの町元さん達のお陰で楽しい山行&食事になりました。ありがとうございました。

参加者 10 人：竹本正幸 竹本加代子 森本信子 縄手修 今田智恵 町元里香 清家幸三 藤原玲子 (CL) 太郎良嘉親 網塚陽子

令和 5 年 6 月 18 日(日) 月例山行  
初物尽くしの国見岩初級岩登り  
北九 543 田和瀬 修

令和 5 年 6 月 18 日、梅雨のちょっとした晴れ間。皿倉山の国見岩初級岩登りに参加した。

高校卒業まで北九州八幡東区で育った私には、皿倉山は毎日見上げるほど身近な山です。家族ハイキング、学校の遠足、クラブ活動でのトレーニング、友達と初日の出を拝んだのも皿倉山。しかし、クライミングの聖地国見岩を知らなかった。

煌彩の森を出発し、直登コースで国見岩に到着。眺望は最高。岩登りの技術をここで学ぼう。



国見岩 (写真 折野道法)

まず、リーダーの竹本さんから、クライミングの種類、岩登り用具(ロープ、スリング、カラビナ、確保器、ハーネス、ヘルメット、シューズなど)の初心の私でも理解できる説明があった。そしていよいよ実践。午前に懸垂下降・午後にはちょっと難易度の高い岩での懸垂下降と岩登り。実践の中で懸垂下降時の確保器の手の操作、岩に直角に立つ立ち位置などを教わった。岩登りでは、ロープワーク、手がかり、足がかりを見つけ、手の力で登らない足で登

ることの大切さを教わった。だが、岩登りの時、頭ではわかっているのだけれど足がかりがうまくいかない。あっ！と思った瞬間、落下、宙ぶらりん。確保者の町元さんの抜群の確保のおかげで怪我もなく、今後につながる失敗の経験をいただいた。

今回の参加で得たものは、災害時でも活用できる器具の役割と取り扱い。そして竹本さんが声高に言っていた\*登るより「信頼されるピレヤー」に\*町



支点の取り方講習(写真 折野道法)

元さんの確保でその言葉が身に染みてわかりました。今日学んだことは大きい。また参加します。

参加者 10 人：竹本正幸 (CL) 竹本加代子  
町元里香 藤原玲子 折野道法 太宰聖志 仙崎宏  
綱川和幸 田和瀬修 ビジター 植木聡子

令和 5 年 9 月 10 日 岩登り教室(陶ヶ岳)  
クライミングの楽しさを感じた陶ヶ岳

北九 542 綱川 和幸

毎年 9 月 10 日は大体天気が悪いのですが、この日は晴れました。楽しみにしていた陶ヶ岳初級クライミングに参加することができたので良かったです。

前回の皿倉山より岩が高く感じました。そんなわけで岩場の大きさと高さに感嘆し、クライミングが楽しく感じられました。しかし、岩に手をかけて実際に登り始めると、怖さも同時に感じました。

高所恐怖症なので高い場所に身を置くことで、心の中にある臆病が増幅され、難しさを実感しました。

また、前回と違う登り方を見せていただき大変勉強になりました。終わりの方で、上の方は下から見えないのでどんなことをしているのか興味深く見ていましたが、私も登れることになったので、上の様子がわかりとても良かったです。

すぐに忘れるので、スマホでビデオを撮ろうと思っていたのですが車に忘れてきてしまい、脳内を整理しているところです。参加できてほんとに良かった

たと思います。山口県は何もないところと思っていましたが、こういう所もあるという事を知りました。家から近いので個人的にも、また行ってみようと思います。



初めての国体ルート(左)確保の練習(右)(写真 竹本加代子)

参加者 6 人：竹本正幸 (CL) 竹本加代子  
町元里香 仙崎宏 綱川和幸 ビジター 植木聡子

令和 5 年 6 月 10 日(土)

新入会員向けの講習会について  
~~学ぶことからはじまる山歩き~~

15387 森 義雄

今年から山岳会へ加入された会員向けに、講習会を開催することになりました。竹本新支部長から講師依頼を受け、有難く協力のご返事をさせていただきました。

山歩きは、だれでもわかっているつもり(山についての知識など)で長年歩くことが多いようです。山の会の役割は、山歩きをはじめた方、既に歩いている方に「安全に楽しく山歩きをする、事故にあわないように」、そのための知識や技術を伝えることが大切だと考えています。山歩きをされる方は、それぞれ目指す目的や方向が違います。私たち山の会員は、安全で心配なく歩けるように、会員に指導することの大切さがあるのでないでしょうか？ 会としても会員に指導できる人材と確保が大切となります。他の会では、指導員コーチ 1 の資格取得をめざすことで、会員への指導を行って活性化を図っている会活動もあります。

新しく入会された会員の方も、それぞれ目的などが当然違います。

今年から始められた講習会は、新しい会員向けへわかりやすく知識や技術を説明する場で、これまでとは違うと形で期待できるものだと考えています。

山岳会は別として、山岳連盟では毎年県単位で新人向けの講習会が開催されています。歩行技術、生活技術、装備の使い方、応急処置など山歩きをする中で、身を守り、安全に歩けるための知るべき内容をわかりやく実技指導しながら行っています。参加される方は義務研修として熱心に聞きながら、習得しています。

新しくはじめる方には、特にいろいろな面でのアドバイスが必要となります。今は、昔と違い細かく丁寧に接することが大切です。月例で歩く姿、装備の携行状況、教えた方がよいことなどが求められます。実際、一緒に歩くことで本人もわかる事、そうだったのか理解できることなどがあります。

今の時代、知識や技術などはSNSや本などで十分知ることが出来ますが、問題点や気づかない欠点は、自分自身ではわかりません。

何十年も歩いて、人に教えられるスキルがあるとは限りません。これはわかっているが、これは知らない方が多いのが現状です。

今回、講習会に参加された方が、どのように理解されたかは、わかりません。当然、経験や知識面で個人差があり、わかっていると思込みをしていることもあります。資料をもらっても、何回も見直し、わからないことは尋ねることが出来る方がスキルアップできると思います。

毎年、全国で開催される指導員の研修会は、参加するとダメ押しばかりで気が滅入りますが、帰ってからの言われたことがだんだんとわかります。教わる内容は一部でも、それから紐解きする努力でこのことが大切だとわかり始めることが一番大切だと実感しています。

私も過去に、ラリーグラスや山の店の講演など聞きながら、学ぶこともありました。山岳会でも、園川講座や内藤さん、武永さんなどにご指導いただきながら勉強しました。今回、講習会に参加された方は、機会あるごとに山の知識を深め、これから勉強して頂きたいと思います。

6月の講習会は、私は①レスキューと②リスクマネジメントが担当でしたが、受講者にとっても、常識の範囲で知っていることが多く、目指すもので修得のレベルが違います。もちろん個人差があります。個人として知っておくこと、将来山行でリーダーとして必要な知識や技術面で修得することの大切を主

眼点に説明しました。一つ一つを掘り下げることより、必要な項目を説明しました(山岳協会の指導員研修コーチ 1 のカリキュラム引用)。内容はその知識を実際の場面で活かせるかどうか、そのためにはどういう判断が必要かなどが求められます。受講者の皆さんは、今年 1 年シリーズで概要や必要内容を勉強する機会となります。

これから伝統ある日本山岳会に入会したのですから、必要な山の知識や技術を修得していただきたいと思います。中途半端な経験は不必要です。

目標は、人のうしろを歩く尻見登山ではなく、リーダーとして先頭を歩いてメンバーから信頼されることを目標に目指していただきたいと思いません。

参加者 10 人：板倉健一 竹本正幸 竹本加代子  
森義雄 町元里香 橋川潤 久保正志 綱川和幸  
田和瀬修 折野道法

令和 5 年 7 月 2 日 (日)

## 第 3 回登山入門講座

月 日：令和 5 年 7 月 2 日 (ルームにて)

時 間：午前 9 時～午後 2 時

新入会員参加者：橋川潤 折野道法 久保正志

綱川和幸 田和瀬修

### <山岳気象の基礎> 竹本正幸

- ・雲の種類と天気
- ・低気圧と高気圧
- ・天気図の見方
- ・危険な天気図
- ・気象遭難を防ぐには
- ・雷鳴が近づいたらどうするかなどプロジェクターで説明

山の鉄則、山は暗いうちに始まり、昼過ぎには目的地に到着する計画を。地上天気と山の天気は違うので観天望気は必要。入山前には天気図を確認することなどを確認しあった。

### <地図読み> 竹本加代子

- ・登山と地図読み 「自立した登山者になろう」を目指して連れて行ってもらう登山から連れていける人になるための学習。

- ・地図読みの必要性
- ・登山に使える地図の種類
- ・各地図のメリット、デメリット
- ・登山前の準備
- ・地図の活用
- ・地形図の基礎

地形図の基礎では、実際の地図で尾根・谷・ピーク・コルなど描き入れ立体感を学習する。次は地図とコンパスを持って山に行きナビゲーション技術の習得を目指す。

### <ロープワーク> 縄手修

・基礎的なロープワークの習得

フィッシュマンノット・クローブヒッチ・ムンターヒッチ・エイトノット・簡易ハーネスなど練習。



ロープワーク(写真 竹本加代子)

また今日はピークハントに四王寺山 4 座の岩屋山 281 ㍎～大城山 410 ㍎～大原山 354 ㍎～水瓶山 212 ㍎を縦走し、太宰府天満宮を参拝して来ました。

時間 3.5hr、距離 6.8 ㍎、累積標高 440 ㍎

参加者 6 人：原広美 磯野文雄 (CL) 縄田正芳  
丹下洽 丹下香代子 縄田正芳 折野道法

令和 5 年 7 月 22 日(土) ポレポレ山行

寂地峡納涼バスハイク

14264 丹下 洽

寂地峡キャンプ場 10 時着。竜ヶ岳散策組は竜ヶ岳へ(板倉健一、馬場基介、縄田正芳、今田智絵、太郎良嘉親)。後のメンバーは納涼がてら昼食準備。昼食は奈良名産三輪ソーメンの極細高級品「白髪」です。竜ヶ岳組の帰着を待って昼食。美味なり！！



寂地峡 (写真 縄田正芳)

令和 5 年 6 月 3 日(土) ポレポレ山行  
～ 四王寺山 大宰府史跡巡り…～

17022 折野 道法

今日は、3 度目の JAC 北九州支部のポレポレ山行に四王寺山、大宰府史跡巡りの探訪に行ってきた。

今日のルートは、都府楼跡の駐車場～都府楼跡～観世音寺～坂本神社～高橋紹運墓地～岩屋城跡～焼米が原で昼食～大宰府政庁跡～観世音寺～戒壇院。山屋の大先輩方と歩くポレポレ山行でした。

ポレポレとはスワヒリ語でゆっくりゆっくり。世界の山歩きは何処も同じですね？



岩屋城跡(写真 折野道法)

食後「五龍の滝」滝巡り出発。豪快な滝、美しい溪流沿いの散策路です。「木馬のトンネル」をくぐり宇佐八幡宮へ。境内には杉の巨樹がある。八幡宮の由来によると、尼子、大内、毛利氏とかつてこの地を巡って戦いを続けた戦国武将の信仰を集めていたようです。

ポレポレ山行は、目的地周辺の植物や史跡等を訪ねるように企画し、それが、ポレポレの特色ともなっています。低山の散策等と軽視せずと一緒に歩いてみませんか。

参加者 9 人：原広美 板倉健一 馬場基介  
関口興洋 丹下洽 丹下香代子 縄田正芳  
今田智絵 太郎良嘉親



令和 5 年 5 月 28 日 (日)

## 第 57 回英彦山山開き

14264 丹下 洽

5 月 28 日に英彦山山開き祈願祭が、昨年同様奉幣殿で行われた。別所より表参道を登る。

両膝を痛めているためスロープカーと思ったが痩せても枯れても「日本山岳会！！」ヨコウシャクシヤク石段を登る。

社務所に初穂料を納め、添田町役場（観光協会）に来意を告げると登山者代表として玉串奉献を要請される。神事は中岳上宮と同じ手順で行われた。



山開き神事へ向かう宮司 (写真 丹下香代子)

社務所前の「ヒコサンヒメシヤラ」が見頃である。この花は高等植物としては唯一「ヒコサン」の名を冠する花です。小滝のそばに「オオヤマレンゲ」が咲いている。別名「乙女の花」と呼ばれ白い清らかな花をつけている。さらに大杉には「セッコク」が白い花を咲かせている。

この時期に奉幣殿を訪れる機会があれば、手洗いの大杉を見上げれば白い花が着生しているのを見ることが出来るかも。下山は資料館経由で下る。何とか膝も頑張ってくれた。

来年の山開きは・・・！？



秋の味覚 くり (写真 橋川潤)

令和 5 年 7 月 6 日～9 日 個人山行

(御嶽山・恵那山・伊吹山)

## ～ばーばの山歩き～

15027 森本 信子

## 《御嶽山》

7 月 6 日 下関～中津川。最終の御嶽ロープウェイまで時間があつたので中仙道（木曾路）をところどころ見学する。ロープウェイで鹿ノ瀬駅から飯森高原へ。暑さ

から一挙に解放され涼しい風に吹かれ気持ち良い。「行場山荘」のそばを通り散策道から次第に登山口に。八合目の「女人堂」を目指す。昔、女性

はここまでしか登れなかったそうです。輝く夜空の星と爽やかな風に吹かれ、疲れを忘れさせてくれました。



八合目女人堂 (写真 森本信子)



王滝から山頂への階段 (写真 森本信子)

7 月 7 日 早立ち。太陽が昇る。今日も見事に晴れてくれました。道の両端の低木、ハイマツもなくなり石、砂利、岩に変わり、浮石に気を付けて登る。新しい社殿、三基のシエルトー遭難碑に

手を合わせる。以前に登った時はものすごく寒く、熱いうどんを食べたことを思い出す。汚れた雪渓は小さくなり、地球の温暖化を実感した。

## 《恵那山》

7 月 8 日 駐車場から 30 分上流へ歩く。板 1 枚の粗末な橋、渡ると直ぐに登山口。登れど登れど急登が続く。道の両側はクマザサにおおわれ、かき分けながら進む。虫が多く飛び交い刺される。



恵那山山頂 (写真 森本信子)

黒井沢からの道と合流しても急登。一ヶ所、崖に細いロープがあり伝い登る。やっと頂上。古びた社、展望台に真新しい二脚の長椅子、各地からの登山者と一緒に会話をしながらの昼食、若者が多かった。遅咲きのドウダンツツジの花が散っていた。

### 《伊吹山》

7月9日 帰りに伊吹山に寄る。車で頂上へ。ガスで視界が悪いがお花畑を散策する。珍しい花が見られず残念でした。

帰りの新大阪は異常と思えるほど混雑していた。下りの新幹線は間引き運転。駅員さんからいつ運転中止になるか分からないと言われ直ぐに乗る。ギューギュー詰めめの通路にも多くの人立っていた。無事に新下関に帰ることが出来ました。山陽本線は動かなかった。

山歩きは晴れて楽しむことができました。北部九州、山口県は大変な大雨で大変だったことを後で知りました。

参加者 2 人：森本信子 友人

令和5年7月11日(火)～12日(水)

個人山行(朝日連峰)

## 風雨の中の以東岳

17031 橋川 潤

### コースタイム

- 11日 大鳥登山口駐車場 6:05～大鳥小屋(タキタロウ山荘) 9:30/9:50～オツボ峰 13:30/13:45～以東岳 15:15/15:20～以東岳避難小屋 15:25  
12日 避難小屋 6:10～以東岳 6:20/6:30～オツボ峰 7:55/8:05～大鳥小屋 10:15/10:30～大鳥登山口 13:50

2015年7月に朝日連峰の竜門岳～大朝日岳の山稜を歩いたが、北に連なる寒江山、以東岳方面は踏み入っていない山域であった。老朽化していた以東岳避難小屋が数年前に新築されているので、家内と以東岳から大朝日岳の避難小屋2泊の縦走を計画した。しかしながら、季節は梅雨末期。雨天が快復する見込みはなく、前日に縦走をあきらめ以東岳のみの山行に変更した。

登山口からしばらくは赤川に沿って緩やかな登山路を歩く。標高550㍍あたりでも溪岸にはまだ雪が残っているところがあり、豪雪地であることを実感する。つり橋を二つ渡り、ブナなどの落葉広葉樹林

を抜けると大鳥池の脇の大鳥小屋に到着。休憩の後、オツボ峰経由の以東岳の登りにかかる。急登がしばらく続くと樹高もだんだん低くなり、標高1200㍍あたりからオトメユリが現れ始めた。このユリは新潟、山形、福島近辺の特産種で、その花の観賞は今回の山行の一つの目標でもあった。標高を上げていくとガスのため数㍍先も見えなくなり、一段と強くなった風雨により時々よろめきながら歩く。頬に打ち付ける雨粒は痛いほどであった。それ



オトメユリ(写真 橋川潤)

でも、足元の花々を眺め、写真を撮りながら一步一步進み、9時間もかかって誰もいない何も見えない山頂に到着した。

すぐに山頂直下の避難小屋に滑り込み、濡

れた衣類、靴を脱いで二階へ上がる。前日泊まった宿には大朝日岳へ縦走するグループがいたので、いつ到着するかを待っていたがとうとう現れず、結局、二人だけの宿泊となった。外は相変わらずの雨・風であったが、室温は16度、寒くはなくゆっくり休むことができた。



ミヤマウスユキソウ(写真 橋川潤)

翌12日朝は相変わらずの風雨。山頂に登り返して同じコースを下ることにする。オツボ峰までは標高1600㍍以上の時折岩場のある尾根道で、本来なら四方の景色が楽しめるはずなのが、見えるのは足元ばかり。道の両側のオトメユリ、ニッコウキスゲ、ヨツバシオガマ、ミヤマウスユキソウなどの写真をしっかりと

撮ることができた。7時30分頃になると、ガスが取れ始め、一瞬青空をのぞかせ、歩いてきた緑の稜線や眼下の大鳥池、6㍍先の障子岳まで見ることができた。でも、その光景は長くは楽しめず、また強い雨が降り出した。これが聞いたことのある「偽りの晴天」であったのだろうか。再び足元だけを見て

歩く。トキソウ、キンコウカ、オオバキスミシなどの花を楽しんだ。



オツボ峰の残雪 (写真 橋川潤)

大鳥小屋での休憩後、しばらく歩くと径が1㍍もあるブナの大木が道を塞いでいた。この大風で倒れたのだろう。また前日は問題なく渡れた幅3㍍ほどだった沢が増水で渡れず、少し上流へ迂回するなど、帰りは風雨の影響をしっかりと受けた道を下りていった。

下山後、宿泊した麓の宿に立ち寄り、下山と倒木の状況を報告。宿の主人は登山路の整備や避難小屋の管理も行っているとのこと。山を安全に登ることができるのは、このようなボランティア活動のためであり本当にありがたく思った。

令和5年7月18日(火)～21日(金)

個人山行 鳥海山(2236㍍)・月山(1984㍍)

～豪雨の鳥海山は濃霧の中、月山も

眺望望めず、ひたすら登り・下る～

15387 森 義雄

今年の夏山の一つ、東北の名峰鳥海山(2236㍍)に7月中旬に登りました。

ここ数年、東北の山に登りたいと計画をしましたが、参加者の急なキャンセルなどがあり、計画倒れになっていました。今年こそはと、鳥海山と月山を目指し、登ることにしました。東北の山は、九州に住む者にとっては、登山口までに時間がかかり、なかなか登れません。

7月18日(火) 九州では梅雨明けとなり、暑い日が続いていましたが、東北山形県、秋田県では豪雨が数日続き、天気も連日雨が強く降る状況でした。

北九州空港から羽田空港、羽田から庄内空港に乗り継いで、昼に到着しました。空港から酒田駅まではバスに乗り、駅前のレンタカー営業所で車を調達しました。

酒田駅から国道7号線で吹浦経由、鳥海ブルーラ

インで1時間30分。今宵の宿大平山荘へ到着。ブルーラインは、雨が強く降り、濃霧で視界10㍍、ゆっくり減速しながら山荘へ向かいました。宿泊者は、登山予定者は私1人、下山者は10名ぐらいいました。明日の天気予報は豪雨、雨男の私は仕方がないと思いながら、就寝しました。

7月19日(水) 天気：断続的な強い雨

午前5時起床、雨が降っています。今日の山歩きは、雨の中を覚悟。

朝食の弁当を部屋で食べて、吹浦口登山口へ移動。登山者は、私以外はいない、車を止めて、登山届を小屋ポストに入れてコンクリートの急坂階段を登り始めます。

登山口(1080㍍)から見晴らし台までの伝石坂は屈指の急坂、雨も降り足元が滑りやすくブナ林をゆっくり進みます。45分歩いて見晴台到着、樹林帯は抜けて風も強く吹き、雨も横殴りの状態、ここからは緩い登山道を河原宿まで歩きます。視界が悪く何も見えません。1時間20分で到着、雨が強いので休憩も立ち休憩長くは休めません。愛宕坂を40分ほど歩いて御浜小屋に到着。トイレ休憩を済ませて、岩場で足場の悪い扇子森(1759㍍)の丘を越えますが、下りでは足元は滝の如く水が流れて、靴も靴下まで濡れます。鞍部の御田ヶ原分岐に35分程で到着。続いて八丁坂の上りを過ぎて七五三掛(しめかけ)まで30分で到着。稜線歩きで風が強く、身体がもっていられることもありましたが、さぞ、天気良ければ絶景がみられたのではないのでしょうか。七五三掛は千蛇谷と文殊岳との分岐です。岩場で一部崩壊し、登山道が新たに作られています。私は左手のコース、千蛇谷雪渓を通る道を選択しました。分岐から谷へは入り口が崩壊していて、新たな道も急坂で滑りやすくなっています。用心しながら谷へ入り、雪渓にたどり着きました。雪渓は幅30㍍、長さ500㍍、雪渓を横切り反対側の夏山道に着き、雪渓に沿って登山道を歩きます。雪渓の最上部辺りは大岩があり、50㍍ぐらいは雪渓とのクレパスを見ながら傍を乗り越えながら歩きました。

そこからは、遠くにあるだろう御室まで、谷間を延々とジグザク登ります。向かい風、雨も強く段々と体力も消耗します。「頑張れ、頑張れ」と念仏を唱えながら歩いて、分岐から約2時間で上宮神社に到着、ここから新山山頂までは25分、風・雨に耐えながらやっと山頂登頂ですが、ガスがかかり何も見えず、感激もなく。新山は、1801年大規模な噴火により新山山頂が生まれたこと。長居は無理なので仕方なく宿泊予定の御室小屋まで下山、結局6時間近く歩きました。立ち止まると身体が冷え切って寒

さを感じます。

宿泊の手続きを一旦しましたが、着替えの場所もなく、暖房もなく、案内された避難小屋のような床張りでは、身体の保温が維持できないと考え、午後零時下山することにしました。着替えて直ぐに下山開始。

登ってきた道を引き返します。下りは 5 時間、登山口までは 5 時過ぎに到着できると考えて、歩きました。行動食や着替えもあり、最悪は途中の御浜小屋がありますので、宿泊はそこで考えながら足元に注意して歩きました。

午後 3 時過ぎに御浜小屋に到着。休まず通過する予定でしたが小屋の管理人さんから声を掛けられ、下山口の大平山荘に泊まるより、この小屋で泊まる方が良いとのアド

バイスをいただき、宿泊することになりました。小屋では、他の登山者 6 名もすでに登山をあきらめて宿泊するとのことでした。中では暖房ストーブで濡れた衣服や靴を乾かすこともでき、冷えた身体を温めることが出来ました。



御浜小屋 (写真 森義雄)

夕方 4 時過ぎ、雨も小やみになり、管理人さんから鳥海山山頂と鳥海湖を紹介され見ることが出来ました。晴ればきれいな山容かなと思ひながら・・・

7 月 20 日 (木) 天気：雨  
翌朝は、下山のみの為、ゆっくりと朝食をとり、管理人さん

にお礼を言って、午前 7 時過ぎに小屋を後にしました。他の 6 名の宿泊者は、雨の中、山頂に向かいましたが、その日のうちに下山されるのかと。

帰路は、管理人さんから紹介された長坂道 T 字分

岐側を歩きました。鳥海湖を左手に多少雪渓が残り、右手にはお花畑がありました。ニッコウキスゲなどの群生地があり眺めながら歩きました。分岐から木道、石畳を歩いて河原宿に合流。そこからは登山口まで約 2 時間歩き、午前 9 時過ぎに無事下山。

今回の鳥海山登山は、行きも帰りも登山者には遭遇せず、寂しい山歩きとなりました。山頂小屋では登山者に対する配慮がなく、逆に御浜小屋では、管理人ご夫妻も暖かくもてなしていただきました。鳥海山の小屋泊りは、シュラフ持ち込みですが、天候が良い日は良いかと思いますが、天候が雨の時の宿泊受け入れが登山者にとっては重要ですが、小屋の対応が悪かったと感じました。また、鳥海山の日帰り登山は、標高差約 1200 ㍎、往復約 11 時間歩行となり健脚コースだと思われます。山小屋は、宿泊が必要な登山者に対する配慮が必要ではないかと感じました。

7 月 21 日 (金) 天気：曇り

今日は、月山登山です。本来は、リフトを使わず登りたかったのですが、天気も曇り、視界が悪いようです。リフトを利用し山頂まで登ります。整備された木道、石畳の登山道を歩き、牛首を過ぎて最後の急登のガレ場を登り終えると 2 時間ほどで山頂に到着。

山頂は多くの登山者が参拝しています。山頂神社で 500 円を支払い、お祓いを受けます。各方面から登った登山者も休憩しています。白装束の団体の登山者もいて休憩しにぎやかです。

天気が良ければ視界も良く最高かなと・・・先を急いで降りることにしましたが、目の前にツアー客が 2 組約 40 名、後ろをついて降りるとガレ場でなかなか追い越せません、仕方なく 30 分ついていきます。牛首分岐手前でやっと追い越し、金姥に向かう途中、雪渓でスキーとボードをしている若者がい



月山山頂神社 (写真 森義雄)

ました。雪質の条件がかなり悪く、汚れていましたが上手く滑っていました。もう今年は終わりのようです。



まだスキーができる (写真 森義雄)

私もスキーをしている時期には春スキーを信州まで出かけていましたが、日本中では 7 月まで滑ることが出来る山スキーは月山だけでした。でも、リフトもなく担いで上るスキーは大変です。分岐から 1 時間ほどで、リフト上駅に到着。そのころから雨が降り出しました。東北の山行は雨にたたられ、美しい景色をみることが出来ませんでした。天気には勝てません、これも山歩きです。

帰路は酒田駅からは羽越本線経由で新潟駅、上越新幹線で新潟から東京駅まで乗り継いで、午後 8 時過ぎ、東京駅に到着しました。

東北の山で残るは大朝日岳。来年行けるかなと思いつつながら気持ちは来年です。

私の山行は、8 月白馬岳から白馬大池縦走、薬師岳、9 月尾瀬 2 山が続きます。これからも師匠の内藤さん、武永さんからいただいたことば「安全で楽しい山歩き」を続けたいものです。



木版画「ウサギギク」伊藤久次郎 作

令和 5 年 7 月 27 日(木) ~ 8 月 2 日(水)

個人山行(北海道)

「日本の最北端の山に登ろう」

くでっかい道・北海道の百名山 2 座に登ってきました

17022 折野 道法

---後方羊蹄山と利尻富士に花の浮島山行報告---

今年の夏も個人山行で、くでっかい道北海道の百名山 2 座(後方羊蹄山と利尻富士)に登って来ました。今年の北海道はとにかく蒸し暑かったです。後方羊蹄山の山頂はいつものようにガスがかかり霧の中、でも一瞬晴れて父釜ドーンに感動して涙出しました。

利尻山もどんよりして山頂は爆風でしたが、礼文岳から見た利尻富士の zero to 1721 の美しさに眼を奪われました。唯一残念な事は、海が荒れウニ丼が・・・

1 日程 7 月 27 日(木) ~ 8 月 2 日(水)

6 泊 7 日

2 スケジュール

1 日目 7 月 27 日(木)

福岡から札幌千歳に飛び、洞爺湖と有珠山火口散策、ニセコ五色温泉泊。

2 日目 7 月 28 日(金)

道産子の山友 5 人のガイドで後方羊蹄山登山～半月湖比羅夫コースからお花畑が広がる真狩コースを縦走する。

- ルート 比羅夫登山口→ 倶知安コースで北山 1843 ㍎→お鉢廻り父釜-母釜-子釜→真狩岳 1893 ㍎→後方羊蹄山 1898 ㍎→真狩コースに縦走⇒羊蹄山避難小屋→ 南コブ→羊蹄自然公園入口 361 ㍎

- 行動時間 9.5 時間 距離 12.8 ㍎  
標高差 1640 ㍎



羊蹄山 (写真 折野道法)

3 日目 7 月 29 日(土)

二セコ～新千歳～利尻島に移動

4 日目 7 月 30 日(日)

利尻山登山

- ・ ルート 利尻北麓野営場 215 ㍿→野鳥の森→第 1 見晴台→第 2 見晴台→長官山 1218 ㍿→利尻山避難小屋→利尻山北峰 1721 ㍿→雄大な本峰を眺めて、利尻北麓野営場に下山
- ・ 特記 山頂付近のザレ場の登山道整備方法に目から鱗でした。
- ・ 行動時間 9 時間 距離 12 ㍿ 標高差 1582 ㍿



利尻山 (写真 折野道法)

5 日目 7 月 31 日(月)

利尻島から礼文島に移動し、礼文岳登山 508 ㍿～有名な桃岩荘ユースホステル泊。NHK の「ドキュメント 72 時間」の取材受ける。

6 日目 8 月 1 日(火)

桃岩台展望コースでキンバイの谷～礼文島ツバメ山 233 ㍿の花の浮島をトレッキング～礼文島～利尻島～札幌千歳～支笏湖泊

7 日目 8 月 2 日(水)

アイヌのウポポイ観光し、九州へ

参加者 5 人：折野道法 (CL) 他中津山岳会 2 人  
ピジター 2 人



ブナの実 (写真 橋川潤)

令和 5 年 7 月 28 日(金)～8 月 3 日(木)

個人山行

稜線闊歩の立山・岩の殿堂の劔岳

・花の大日三山

コースタイム：

7/29 立山駅<ケーブルカー>13:00～美女平<高原バス>室堂 14:00～一の越山荘 15:25

7/30 一の越山荘 6:50～雄山 7:45/8:15～大汝山 8:40/8:50～富士の折立 9:00/9:30～真砂岳 10:10～別山 11:10/11:35～劔御前小舎 12:10/12:27～劔沢小屋 13:20～劔山荘 13:50

7/31 山荘 4:00～一服劔 4:28～大岩(3のクサリ) 5:16～前劔 5:45～カニのたてばい 6:54～劔岳山頂 7:34/8:15～カニのよこばい 8:24～平蔵の頭 8:55～劔山荘(朝食弁当) 11:05/12:20～劔御前小舎 14:10

8/1 劔御前小舎 6:05～室堂乗越 7:30/7:40～奥大日 9:10/9:40～大日小屋 11:40/12:00～大日岳 12:13/12:40～大日小屋 13:00

8/2 大日小屋 3:55～大日平小屋 6:20～牛首 7:20～大日岳登山口 8:23～称名の滝 8:35/9:10～称名の滝バス停 9:30/10:00～立山駅 10:20

～スリリングな劔岳に挑戦して～

16601 藤原 玲子

鎖場や急峻な岩場が続くスリリングな劔岳は、憧れの山の一つで挑戦したい山でした。朝 4 時に劔山荘を出発し、一服劔を超え前劔への登りはすごいガレ場で浮石、落石をしない様に注意し慎重に登る。前劔から劔岳までは、4 ㍿の鉄のブリッジを渡り、平蔵の頭の鎖場、平蔵のコルまでは岩場の登り下りが続き、いよいよ難所のカニのたてばいと、下りはカニのよこばいです。急斜面なので、最初の手を置く位置と足を置く位置がわからず教えて頂き、高度感のある難所をクリアでき、前に進めました。

山頂からは、日本海や、富山県の街並み、ゴツゴツした源次郎尾根やハツ峰などの有名な尾根も見え、眺めるだけでも存在感のある劔岳でした。

雄山～別山～大日岳～称名滝までの縦走も天気に恵まれ、沢山の可愛い花や、オコジョに癒され、中



平蔵の頭は上りと下りの分岐  
(写真 竹本加代子)

でもピンク色のチングルマが咲いているのにビックリしました。立山は、どこを見ても美しい景色が広がり絵になります。特に劔岳に登れたのが嬉しく達成感でいっぱいです。これも、竹本リーダをはじめ、皆さんのお陰で達成する事が

できました いつも楽しい山行をありがとうございました。

～汗と努力の先の達成感～

北九 542 綱川和幸

劔岳登山、最高の経験でした。自然の雄大さに圧倒されながらの登頂は、汗と努力の先にある達成感がたまりませんでした。頂上からの景色は壮観そのもの。劔岳の頂で感じた喜びや感動は、これからの日常にも力を与えてくれそうです。また、登りに行くことを楽しみにしています。



劔岳山頂 (写真 竹本加代子)

～クライミング意欲をそそる山～

14852 竹本正幸

岩の殿堂劔岳、何回来てもクライミング意欲をそそる山である。ごつごつした岩場の登山。一方、大日岳はお花畑が続くたおやかな尾根歩きである。高山植物の花が最高に良い季節で沢山の花々と出会うことが出来た。立山縦走は穏やかに、劔岳は緊張して歩き、大日岳縦走はノンビリと楽しい山行でした。

～岩のゴリゴリにワクワク!～

15710 町元里香

長引く梅雨と梅雨明けからの異常な暑さで山歩きが出来ないまま、劔岳登山に出発した。天候にも恵まれ、なんとか 5 日間歩くことができた。初日はオコジョの歓迎を受け、2日目は雄山山頂の神社に参拝して登山の無事をお願いした。別山から眺める「源次郎尾根にハツ峰主稜」凄すぎる。でも、ゴリゴリを見るとワクワクしてしまいます。3日目は別山尾根から劔岳に登頂。山頂から見た岩のゴリゴリも(圧巻 or 格別 or 絶景)でした。4日目はお花畑を進み、奥大日岳から大日岳へ。最高の楽園です。大日小屋(ランプの宿)では夕食までビール片手の読書。至福の時を過ごしました。5日目は、疲れた体にムチ打ちながら下山。大日平の景色は素晴らしい。最後は圧巻の称名滝に感動! 有意義な 5 日間でした。一緒に歩いた友に感謝の気持ちでいっぱいです。本当にありがとうございました。



大日岳 (写真 竹本加代子)

## ～ご褒美は高山植物のお出迎え～

14853 竹本加代子

夏山山行の一番は快晴と 360 度のパノラマ。ご褒美はこの時期ならではの高山植物のお出迎え。立山信仰の雄山、岩の殿堂の剣岳。何度か目的にしたり通過したりの山々でしたが感動はより深くさらに心に残る日々でした。立山（別山北峰）から対峙する剣岳のその凄さは言葉にならなかったこと。剣岳山頂から雪渓の長次郎谷に源次郎やハツ峰は目に鮮やかに残ったこと。一番楽しみにしていたことは花の大日三山縦走。意外と長い縦走路でしたが生き生きとした今が盛りの花々の最高のお出迎えに感激。花の写真を撮るために隊列を止めてしまう心苦しさ。徐々にタイトな山行から解放された山旅でした。



称名の滝 (写真 竹本加代子)

## 山行・行事のお知らせ

## — 12 月 —

## ● 2023 年度 年次晩餐会のお知らせ

日 時 令和5年12月2日(土)  
17時00分～19時30分

場 所 京王プラザホテル

参加費 20000 円

入場料 講演会のみ 500 円(晩餐会出席者は無料)

※参加される方は清家までメールください。

✉ qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp

## ● 2023 年度 忘年登山及び忘年の集い

1 忘年登山 妙見神社～足立山～戸ノ上山～戸ノ上神社

日 時 12月9日(土)

※詳細は参加メンバーに後報

集合場所 小倉駅前(縦走組)

門司駅前(戸ノ上山のみ)

## 2 忘年の集い

場 所 居酒屋コール天

日 時 12月9日(土)

17時30分～19時30分

予 算 4000 円

※参加者は事務局の清家までメール又は SMS にてお知らせください。

✉ qqmn2kd9k@fuga.ocn.ne.jp

090-8664-4411

## ● Geo トレッキング

場 所 御所ヶ岳(247 ㍎)・馬ヶ岳(216 ㍎)

リーダー 横山秀司

日 時 12月16日(土)(当初の予定日を変更)

集 合 御所ヶ谷駐車場(9時)

行 程 駐車場～御所ヶ岳～馬ヶ岳～駐車場

申込み 横山 ✉ yoko-hideji@ab.auone-net.jp

090-9609-7721

## — 1 月 —

## ● 月例山行 バスハイク

「観海アルプス縦走(天草の山)」

期 日 1月13日(土)～14日(日)

集合場所 小倉駅 6時30分

古賀SA 7時10分

基山SA 8時00分

コ ー ス 13日(土)太郎丸嶽、次郎丸嶽(約4時間)

14日(日)観海アルプス縦走(約7時間)

会 費 未定

宿 泊 先 未定

締 切 り 11月8日

申込み先 塚本久嘉 090-7475-6084

※バスハイク(縦走)の為現地集合不可

## — 2 月 —

## ● 月例山行 1 &lt;雪山・伯耆大山&gt;

期 日 令和6年2月3日(土)～4日(日)

場 所 伯耆大山(鳥取県)

目 的 夏道より頂上登山

宿 泊 下山キャンプ場(テント泊)

行 程



2 月 3 日 小倉 KKM 6:00 集合～下山キャンプ場(テント設営後雪上訓練)(泊り)

2 月 4 日 下山キャンプ場～頂上往復(夏道)～下山キャンプ場～帰路

個人装備 アイゼン、ピッケルその他冬山装備

移動手段 車で移動(移動手段はご相談ください)

申込み 竹本正幸(SNS 又はメールにて)

✉ takemoto.masayuki@white.plala.or.jp  
090-6739-9251

締切り 1 月 7 日(日)

### ● 月例山行 2 岩宇土山(1347 ㍎)福寿草観賞

リーダー 赤瀬榮吉

期 日 2 月 25 日(日)

集 合 岩宇土山登山口 8 時 45 分予定

行 程 登山口 9:00～岩宇土山 11:20(昼食)～  
オコバ谷分岐 13:10～台地 13:40～車道出  
合 14:30～登山口 15:00

申込み 赤瀬榮吉 090-7475-9748  
(SMS 優先)

締切り 2 月 4 日(日)

※集合場所、時間等は参加者が確定後調整します。

※お断り：今回は上福根山には登りません。

## — 3 月 —

### ● 月例山行 1

～日本山岳遺産に認定された鹿鳴越連山～

期 日 3 月 3 日(日)

集 合 横津神社(大分県日出町) 午前 9 時 00 分

行 程 法花寺登山口～経塚山～七ツ石山～板川山  
百合野山～城山～横津神社

(コースが変更になる場合有り)

申込み 藤原玲子 090-8837-9138

✉ reiko19550321@gmail.com

締切り 2 月 18 日(日)

### ● 第 5 回 登山入門講座

「テント泊に挑戦しましょう！準備は万全ですか？」

日 時 3 月 10 日(日) 午前 9 時～午後 3 時

※日程が変更になりました

申込み 町元里香

090-9572-6939 (SMS 可)

✉ yunae.runa@gmail.com

締切り 2 月 25 日(日)

※詳細は後日参加者にお知らせします。

### ● 月例山行 2 岩屋公園

～ ゲンカイツツジに会いに ～

鍋を囲んで楽しい一時を過ごしましょう

日 時 3 月 24 日(日)

※日程が変更になりました

集 合 東峰村岩屋キャンプ場 午前 9 時

リーダー 縄手修

申込み 町元里香

090-9572-6939 (SMS 可)

✉ yunae.runa@gmail.com

締切り 3 月 10 日(日)

※交通手段などにご相談ください

## — ポレポレ会山行 —

### ● 令和 6 年 1 月 新年初詣 門司港周辺

期 日 1 月 6 日(土)

集 合 JR 門司港駅 9 時

行 程 JR 門司港駅～甲宗八幡宮～和布刈神社他～  
門司港レトロ

昼食は門司港周辺にて(希望者)

解散 15 時ころ

申込み 丹下洽 090-3732-8843

締切り 令和 5 年 12 月 23 日

### ● 令和 6 年 2 月 秋穂串山縦走 山口市

期 日 2 月 24 日(土)

集 合 山口市秋穂総合支所 9 時 30 分

(山口市秋穂東 6570 083-984-8024)

行 程 秋穂コミュニティーセンター～行者嶽(山  
頂)～国民宿舎(昼食クルマエビフライ定食)  
～草山灯台～山頂～コミュニティーセンター  
解散 14 時 30 分ころ

申込み 丹下洽 090-3732-8843

締切り 2 月 10 日(土)

### ● 令和 6 年 3 月 白野江植物公園(寒桜)、部崎(へさき)灯台

期 日 3 月 28 日(木)

集 合 白野江植物公園駐車場 10 時

行 程 白野江植物公園～部崎灯台～カキ小屋(昼  
食)

解散 15 時ころ

申込み 丹下洽 090-3732-8843

締切り 3 月 14 日(木)

※北九州市の年長者・施設利用証等をお持ちの方は持参して下さい。

## 令和5年度 行事・月例山行計画

※印は日程の変更があるためご確認ください

| 月  | 日             | 行事・山行            | 担当    | 内 容                   | 実施人数 |
|----|---------------|------------------|-------|-----------------------|------|
| 4  | 9日(日)         | 4月月例山行1 香春岳      | 奥田    | 岩場練習                  | 12人  |
|    | 13日(木)        | 江汐公園宗麟寺ボレボレ山行    | 縄田    | コバノミツバツツジ             | 6人   |
|    | 15日(土)        | 入門講座1(新入会員対象)    | 町元    | オリエンテーション(ルーム)        | 5人   |
|    | 15日(土)        | 第24回通常総会         | 支部行事  |                       | 28人  |
|    | 23日(日)        | 4月月例山行2 雷山・井原山   | 三浦    | コバノミツバツツジ             | 8人   |
| 5  | 21日(日)        | 求菩提山ボレボレ山行       | 里     | ヒメシャガ                 | 9人   |
|    | 27日(土)        | 平尾台南部            | 横山    | Geoトレッキングとムラサキの監視活動   | 10人  |
|    | 28日(日)        | 5月月例山行 平治岳       | 縄手    | ミヤマキリシマ               | 中止   |
| 6  | 3日(土)         | 四王司山都府楼ボレボレ山行    | 磯野    | 大宰府史跡巡り               | 6人   |
|    | 10日(土)        | 入門講座2(新入会員対象)    | 町元    | 机上(ルーム)               | 10人  |
|    | 11日(日)        | 6月月例山行 九州オルレ     | 藤原    |                       | 10人  |
|    | 18日(日)        | 岩登り教室            | 竹本    | 国見岩                   | 10人  |
|    | 24日(土)~25日(日) | 夏山フェスタin福岡       | 支部行事  |                       |      |
| 7  | 1日(土)~2日(日)   | 東北北海道地区集会        | 青森支部  | 青森支部30周年 青森県八戸        |      |
|    | 2日(日)         | 入門講座3(新入会員対象)    | 町元    | 机上(ルーム)               | 9人   |
|    | 9日(日)         | 沢登り              | 竹本(加) |                       | 中止   |
|    | 16日(日)        | 7月月例山行 九重        | 町元    | 特別山行訓練                | 7人   |
|    | 22日(土)        | 寂地峡ボレボレ山行        | 縄田    | 山口県バスハイク(水遊び)         | 9人   |
| 8  | 5日(土)~6日(日)   | 九州5支部懇談会         | 東九州   | 法華院温泉、慰霊碑             | 5人   |
|    |               | 山の日              | 支部行事  |                       |      |
| 9  | 9/1(金)~9/5(火) | 特別山行             | 町元    | 八ヶ岳                   | 8人   |
|    | 10日(日)        | 岩登り教室            | 竹本    | 陶が岳                   | 6人   |
|    | 17日(日)~18日(月) | 9月月例山行 韓国岳・高千穂の峰 | 町元    |                       | 10人  |
|    | 23日(土)~24日(日) | 全国支部懇談会          | 群馬支部  | 水上温泉、谷川岳              | 6人   |
|    | 30日(土)        | 角島ボレボレ山行         | 丹下    | 山口県 ダルマガク             | 中止   |
| 10 | 7日(土)         | 平尾台              | 横山    | セイタカアワダチソウの除去(ボランティア) |      |
|    | 14日(土)~15日(日) | 10月月例山行1 三瓶山     | 竹本(加) | テント泊練習                |      |
|    |               | 広島支部交流会          | 支部行事  |                       |      |
|    | 21日(土)        | 萩往還ボレボレ山行        | 縄田    | ウォーキング                |      |
|    | 22日(日)        | 10月月例山行2 祖母山     | 清家    | 紅葉登山                  |      |
|    | 29日(日)        | 楨有恒碑前祭           | 支部行事  |                       |      |
| 11 | 3日(土)         | ウェストン祭           | 宮崎支部  |                       |      |
|    | ※ 5日(日)       | 尺岳               | 横山    | 森林巡視活動                |      |
|    | 22日(水)        | 十種ヶ峰ボレボレ山行       | 縄田    |                       |      |
|    | 23日(祝木)       | 入門講座4(新入会員対象)    | 町元    | 平尾台                   |      |
|    | 25日(土)~26日(日) | 11月月例山行大崩山系      | 竹本    | 大崩山と銚岳                |      |
| 12 | ※ 16日(土)      | 御所ヶ岳~馬ヶ岳         | 横山    | Geoトレッキング             |      |
|    | 2日(土)         | 年次晩餐会            | 本部行事  |                       |      |
|    | 9日(土)         | 忘年登山             | 支部行事  | 足立山~戸ノ上山              |      |
|    | 9日(土)         | 忘年の集い            | 支部行事  | 居酒屋コール天               |      |
| 1  | 6日(土)         | 三社参りボレボレ山行       | 原     | 甲宗八幡宮、和布刈神社           |      |
|    | 13日(土)~14日(日) | 1月月例山行 観海アルプス    | 塚本    | 辰年の山 バスハイク            |      |
| 2  | 3日(土)~4日(日)   | 2月月例山行1 雪山 伯耆大山  | 竹本    | 雪上訓練                  |      |
|    | 24日(土)        | 串山ボレボレ山行         | 原     | 山口市秋穂                 |      |
|    | 25日(日)        | 2月月例山行2 岩宇戸山     | 赤瀬    | 福寿草                   |      |
| 3  | 3日(日)         | 3月月例山行1 鹿鳴越連山    | 藤原    | 日本山岳遺産                |      |
|    | ※ 10日(日)      | 入門講座5            | 町元    | 足立山                   |      |
|    | ※ 24日(日)      | 3月月例山行2 岩屋公園     | 縄手    | ゲンカイツツジ               |      |
|    | 28日(木)        | 白野江公園、部崎灯台ボレボレ山行 | 丹下    | カキ小屋                  |      |

※各行事の担当者の連絡先については事務局の清家幸三(下記)までメールかSMSでお願い致します。

メールアドレス qamakd9k@fuga.ocn.ne.jp

携帯電話 090-8664-4411

**会務報告****令和 5 年度 第 2 回役員会議事録****事務局**

日 時：令和 5 年 7 月 27 日（木）

19 時 00 分～21 時 00 分（リモート会議）

出席者：竹本、榊、横山、縄田、橋川、町元、

馬場、日向、清家

**議事次第****I 竹本支部長挨拶**

6 月 8 日の各支部連絡会議の報告があり、山岳会が会員減少による赤字体制の立て直し、会員増による収入の増加を図ることが大きな課題となっている状況を説明。

今後、各支部と情報交換を図り支部運営を進めていく旨を伝えた。

**II 報告・連絡・確認事項**

- 1 会員異動 正会員 入会 大山時彦
- 2 会費納入状況  
縄田委員長より次のとおり未納者数の報告。  
通常会員 8 人 支部友 5 人
- 3 入会パンフレット  
1000 部作成。一部を福岡フェスタで使用。このツールを各役員が常時持参して入会希望している人に配る。
- 4 本年度上半期 6 月 30 日までの行事  
月例山行の状況は 7 月支部だより P18 を参照。この 4 か月近くを見て昨年よりは確実に実施出来ている。
- 5 九州 5 支部懇談会  
資料により報告
- 6 全国支部懇談会  
資料により報告
- 7 古道調査  
資料により報告
- 8 榎有恒碑前祭  
資料により報告
- 9 北九だより 100 号特別記念特集の発刊
- 10 ホームページの活用  
支部内の情報開示と同時に、ホームページの拡充を図り外部への働きを進める。6 月に正会員になった大山さんに参加してもらい取り組む。
- 11 山行計画書の提出期限
- 12 その他  
サロンのお知らせ

・小倉サロンは 8 月 24 日に暑気払いウクレレ演奏会を開催。

・博多サロンは 8 月 9 日に竹下のアサヒビール園、11 月 9 日は冷酒祭り。

**III 議題**

- 1 支部報の発刊について
- 2 会員の入会について  
竹本支部長の挨拶の内容に沿って会員増を図る。
- 3 森林保全巡視活動（横山自然保護委員長）  
今後も続ける。2023 年度自然保護全国集会「人と森とのかかわり」に参加する。

**IV その他**

次回の役員会の日時

令和 5 年 9 月 14 日（木）13 時 00 分～

**会務報告****令和 5 年度 第 3 回役員会議事録****事務局**

日 時：令和 5 年 9 月 14 日（木）

13 時 00 分～14 時 50 分

場 所：北九州支部ルーム

出席者：竹本、榊、横山、日向、縄田、町元、

橋川、清家

**議事次第****I 支部長挨拶**

最近、この 7 月、8 月で山の遭難事故が増えている。原因は気象と行動によるものが多い。日頃の体調管理に努めることと山行計画書のチェックをしっかりして欲しい。

**II 報告・連絡・確認事項**

- 1 会員異動（事務局長）  
9 月 14 日現在では会員 57 人、支部友 27 人、会友 4 人で計 88 人。
- 2 会費納入状況（縄田財務委員長）  
未納者は通常会員 6 人と支部友 5 人。
- 3 7 月、8 月、9 月の行事の結果報告と今後の行事予定（町元山行委員長）  
後日、年間計画表に記入してメールをする。今後の計画は議題の中で進める。
- 4 支部報の発刊状況（橋川広報委員長）  
年間 3 回で 1 回目は 7 月発行済み、次は 10 月、3 回目は 1 月を予定。10 月発行は原稿を 8 月末で締め切っている。
- 5 九州 5 支部懇談会の報告（事務局長）  
8 月 5 日と 6 日、東九州支部主催で法華院温泉

山荘にて開催。支部より 5 人、全体では 61 人が参加し各支部との交流をはかった。次の日の山の安全を守る遭難慰霊碑前の法要は雨のため山荘内で実施した。

#### 6 古道調査報告(榊副支部長)

最後の求菩提山の調査報告を本部に送り終了した。CD にまとめて 1 部はルームにて保管。

### Ⅲ 議題

#### 1 新入会員を増やす施策を今後の事業計画にどのように組み入れるか。

ホームページの充実を進めていくことが課題。大山さんの参加を得た段階で、事務局でこれから具体的に進めていく。時期的には本年度中に稼働する予定。

#### 2 榎有恒碑前祭の本部への案内と懇親会の開催

10 月 29 日に碑前祭と午餐会をする。本部より担当役員が参加するが、他支部から参加することも考えられる。午餐会の場所は門司クラブで決定。準備のための臨時役員会を 10 月 12 日に行う。本部予算は花代とお神酒代に充てる。

#### 3 広島交流会

広島支部からの連絡を待ち対応する。

#### 4 ウェストン祭

宮崎支部からの連絡を待ち対応する。

#### 5 電報(弔電)について

次回の会議までに素案をまとめて事務局長より提出する。対象者は他支部の支部長または前支部長まででそれ以外は支部長判断で出す。

#### 6 森林保全巡視員の更新(横山自然保護委員長)

馬場、磯野、町元、赤瀬、竹本、榊、橋川、横山を進める。

#### 7 支部会費納入方法について

銀行引き落としはできないかの意見があり、検討の結果経費増があり従来どおりのやり方になる。

#### 8 その他(縄田財務委員長)

本年度の会計状況説明あり。経費の削減と収入源の確保をしていく必要性を報告。

### Ⅳ 次回の役員会の日程

11 月 16 日(木) 13 時 00 分～ リモート会議

#### お詫びと訂正

北九だより 101 号 17 ページの「会員の異動状況」欄において、退会者に北九 530 松岡文子とありましたが、事務局の手違いがあり退会となっております。

ここにお詫びして訂正します。

#### 編集後記

秋も深まると、毎晩のように窓の外からオスジカの鳴き声が聞こえてきます。

近年、シカの個体数が増加し、分布域が広がりを見せており、それに併せてシカによる森林植生の被害も顕著となっています。森林の裸地化や土砂崩壊を引き起こしている山も見かけます。

一方、シカの不嗜好性植物である山芍薬や烏兜の群落があちこちの山で見られるようになり、その観賞を目的に山に入る登山者も多いと聞いています。

しかし、花を見て喜んでばかりいる場合ではありません。山の悲痛な叫びにも耳を傾けて、山の憂いを感じ取ってほしいものです。(J.H.)